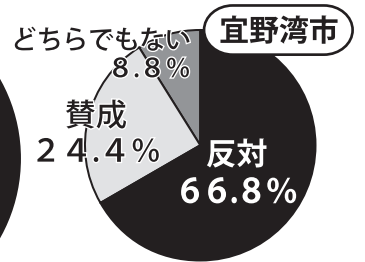
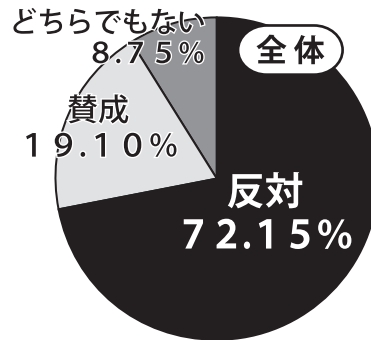


沖縄県民投票で

辺野古新基地建設 「反対」72%



沖縄県民投票の結果
「新基地建設のための埋め立てに」

2月24日投開票の沖縄県民投票で、名護市辺野古への米軍新基地建設のための埋め立て「反対」が投票総数の約72%を占めました。普天間基地を抱える宜野湾市はじめ、全市町村で「反対」が圧倒しました。県民は普天間基地の「移設」ではなく、「撤去」を求めています。安倍政権は圧倒的な民意に従い、ただちに工事を中止すべきです。

「安倍首相」 民意に従い工事を即中止を

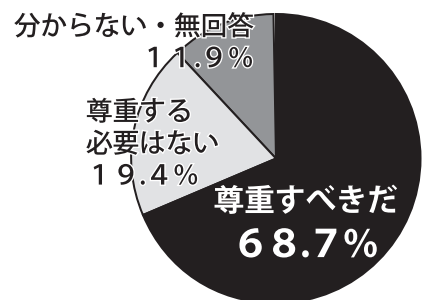
首相「真摯に受け止める」?

安倍首相は結果を「真摯に受け止める」と言いながら、埋め立て工事を続行しています。首相が存在を認めた建設予定地の軟弱地盤は水深90mまで続いています。日本の作業船で改良工事ができるのは水深70mまでです。つまり完成する展望のない、完成しても地盤沈下が止まらない基地なのです。

工期は最低でも13年以上、費用は2.5兆円をはるかに超える見込みです。県民を普天間基地の危険にさらし続ける無計画な工事を、県の許可もなく継続することは許されません。

民主主義と環境、平和を守るために、全国で「工事は即時中止、普天間基地の閉鎖・撤去を」の声をあげましょう。

「県民投票の結果を政府は」



「共同通信」世論調査
(全国、3/11付)

新基地建設反対の署名にご協力ください

日本平和委員会 2019年3月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277